藤沢市　令和元年度事務事業評価シート簡易版（平成30年度分）

事務事業名	公共建築関係費											担当課	部課名	計画建築部公共建築課		
予算科目コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	細目	007	説明	01	課等の長	福島　正也	電話	4240

1．事業概要

事業開始年度	平成　12　年度	終了（予定）年度	未定　年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	①事業課からの工事等委託通知書により，設計及び工事発注・工事監理の受託業務を行う。 ②事業課からの依頼により，工事等に関連する技術協力を行う。 ③公共建築物の改修工事等の設計を適切に行うため，前年度完成工事図面を電子データ化し整備する。				
対象	1．個人	市民		429,317	
根拠法令等					
事業実施内容					
事業実施手法（該当するもの全てにチェック）	■ 直接実施				
	■ 委託・指定管理	（委託先：藤沢青写真株式会社）			
		（委託等内容：工事図面のデータ化）			
	■ 補助金・負担金	（負担金：一般社団法人公共建築協会等）			
	□ その他	（　）			

2．歳出支出済額及び財源内訳

歳出　H30年度支出済額　8,985 千円

事業費節別内訳

費目	支出済額（千円）	主な事業内容
旅費	127 千円	講習会参加旅費及び視察・打合せ等経常旅費
需用費	2,498 千円	用紙・インク代・参考図書等，青焼き代
委託料	314 千円	設計図面の整理(工事図面電子データ化)の委託料
使用料及び賃貸借料	5,833 千円	庁内各課から委託された公共建築物の台帳整備等の賃貸借料
負担金補助及び交付金	213 千円	公共建築協会賛助会費及び講習会等参加負担金等

財源内訳　H30年度支出済額　8,985 千円

事業費節別財源内訳

費目	支出済額（千円）
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国庫支出金	
県支出金	
その他　（　）	
一般財源	8,985 千円

3．この事務事業に関わる職員数（任用形態別人工数）

	平成30年度
正規職員等	34.00
再任用短時・任期付短時職員	1.00
非常勤職員	0.00
合計	35.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員（短時以外）＋任期付職員（短時以外）＋常勤嘱託職員

4．コスト分析

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
コスト 支出 行政費用 A	322,356		401,088		347,396		332,287	
(1)現金を伴う支出（千円）	334,247		387,341		363,185		342,190	
事業費（支出済額－②報酬合計）	4,995		9,053		9,117		8,985	
償還金利子	0		0		0		0	
人件費合計（①＋②＋③）	329,252		378,288		354,068		333,205	
職員数（常勤｜非常勤）	35.10	0.00	40.00	0.00	37.00	0.00	35.00	0.00
参考：正規職員平均給与	9,040		9,101		9,219		9,167	
①職員給与合計（常勤）	312,210		357,598		337,953		317,253	
②報酬合計（非常勤）	0		0		0		0	
③退職金相当額	17,042		20,690		16,115		15,952	
(2)現金を伴わない支出（千円）	−11,891		13,747		−15,789		−9,903	
①減価償却費	0		0		0		0	
②退職給与引当金繰入額	−11,891		13,747		−15,789		−9,903	
③不納欠損額	0		0		0		0	
④その他（　）	0		0		0		0	
市民1人あたりの負担額 A/人口（円）	766.38	420,619	943.50	425,105	812.62	427,501	773.99	429,317

成果実績	指標名	設計及び工事監理等	目標	－	単位	－	単位	－	単位	－	単位
					－		－		－		－
			実績	170	単位	134	単位	74	単位	82	単位
					件		件		件		件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		事業課より発注される委託工事の為，目標の設定が困難である。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 （円）			1,896,211.76		2,993,194.03		4,694,540.54		4,052,280.49	

※1 職員数･･･〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)
※2 人件費･･･〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 〔非常勤〕月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額
※3 退職金相当額･･･年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	受託課である公共建築課が設計業務及び工事を執行するに当たり，事業主体である委託課が「設計への要望事項の整理」，「事業を進める際の課題調整」をする必要がある。設計・工事の円滑な進捗には，課題を共有し，スムーズな整理・調整が必要である。これからの公共施設の建て替えなどにあたっては複合的な機能を持つ施設の建設，民間資金の導入など新たな課題にこたえていく必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	事業主体である委託課と受託課が一体となり工事等の進捗管理を行う取組として，予算見積段階から事業の工程を考慮した予算化への取組や，委託設計においても共通の課題意識を持った定期的な打ち合わせを行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価		各課から要望される受託工事等については，不落不調による再設計や突発的な緊急工事等に対して真摯に対応することができた。また，ナレッジマネジメントを推進するため，職場内での技術のノウハウの共有化や経験を伝承するとともに，予算を有効に活用し，多数の講習会・研修会への参加や，他都市との協議会，専門部会への参加により，近隣都市と共通課題などの意見交換が行え，成果を得ることができた。また業務の均等化の観点より，一部の工事において，委託課との調整により前倒し設計業務を実施し，上半期発注の過密設計緩和対策を試みて，担当者の負担軽減とした。
今後の方針	事業の方向性	現状維持
		東日本大震災の復興や東京オリンピック，パラリンピック開催に向けた施設建設など建設業界は不安定な状況が続いている中で，多くの改修工事に加え，藤沢市公共施設再整備プランに代表される，教育施設の改築や一般施設の複合化に対して，職員が一丸となっている。そのような中でもナレッジマネジメントの本題を忘れることなく，予算を有効活用するため，多方面に渡る講習会・研修会に参加していく姿勢を求めていく。また業務の均等化の可能性についても，今後も前向きに取り組んでいく。

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	各課より依頼される工事等の予算見積に関すること	無	無		3
2	各課より依頼される工事等の発注手続きに関すること	無	無	2	3
3	各課より依頼される工事等の設計図書の作成に関すること	無	無	3	3
4	各課より依頼される工事等の監理･監督に関すること	無	無	3	
5	各課より依頼される工事等の技術協力に関すること	無	無	3	3
6	各課より相談される建物･設備の不具合の対処方法に関すること	無	無	2	3
7	各課より依頼される耐震診断(一次･二次診断)業務に関すること	無	無		3
8	市全体の公共施設で市営住宅･下水道施設を除いた263施設の建物台帳作成業務に関すること	無	無		1

※リスク分類Ⅰ･･･市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
※リスク分類Ⅱ･･･組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	計画建築部	氏名	石原　史也	確認日	2019.8.9